

## 地方自治体

---

日本には、州や省はありません。日本が連邦制度ではなく2院からなる2院制の国だからです。“市”“町”“街”“村”は基礎的な地方公共団体で、基本的な行政上のサービスを住民に提供しています。都、道、府、県は市町村を包括する広域の地方公共団体です。

### 1) 東京

日本には47の都道府県があります。1都（東京）、1道（北海道）、2府（大阪府、京都府）、43県です。道府県はそれぞれ同じ役割をしています。名前の由来は歴史が関係してきますが、“都”は特別な役割を持ちます。東京都は、狭い面積に沢山の人口が集まる日本の首都なので、“東京都庁”が市と同様の権限を持っています。その結果、首都圏には市、町、村はありませんが、23区が決められた権限内で行政機関となっています。

### 2) 大都市

埼玉、横浜、川崎、相模原、千葉は東京に近く、札幌、仙台、名古屋、京都、大阪は、政令指定都市と呼ばれ、他の県同様の行政権限があります。これらの都市には区が置かれていますが、権限は東京都区部よりも制限されています。

### 3) “まち”、“ちょう”/“むら”、“そん”の発音

日本語漢字の多くは、2、3の異なった読み方や発音があります。“まち”、“ちょう”は、“町”の読み方、“むら”、“そん”は“村”の読み方です。

### 4) “まち”、“ちょう”の複雑な意味

日本語の“まち”、“ちょう”は複雑な意味を持ちます。元々、“まち”、“ちょう”は、単に人が住む場所という意味でした。今日、“まち”、“ちょう”は2つのカテゴリー

に分かれています。

(1) 市政機関名

(2) 市政機関内の小都市名

例えば、下記の住所でいうと、Aは市政機関内の小都市名、Bは市政機関名です。

1-1-1, A-ちょう, B-まち, C-県

1-1-1, A-まち, B-ちょう, C-県

1-1-1, A-まち, B-まち, C-県

1-1-1, A-ちょう, B-ちょう, C-県

